

提言第8号 救急医療における画像診断に係る死亡事例の分析

事例7

< 事例概要 >

- ・ 40 歳代の患者。胃痛、心窩部痛で夜間に救急受診。
- ・ 担当医師の診察時、腹部所見に乏しく、急性心筋梗塞、大動脈解離、急性膵炎、尿管結石の除外目的で腹部単純CT 依頼。
- ・ 画像上で明らかな異常所見なしと判断、痛みが消失していることから帰宅を指示。帰宅後、腹部膨満感あり、呼吸困難となり救急搬送。画像検査から 8 時間後死亡。
- ・ 死因は脾動脈破裂。死亡時画像診断（Ai） 有、解剖 有。
- ・ 画像診断報告書は、急変後に読影依頼されて作成。
- ・ 胸部単純CT で後腹膜血腫を疑う所見を認めた。